

令和 7 年度 社会福祉法人修倫会事業報告

I 基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

II 基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の 3 点を基本方針とする。

- (1) 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
- (2) 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用に努める。
- (3) 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上に努める。

III 経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

○第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業

- | | |
|-----------|---------------------|
| 「松柏園」 | 就労継続支援 B 型（定員 40 名） |
| 「あすリード本舗」 | 就労継続支援 B 型（定員 20 名） |
| 「みずき園」 | 就労継続支援 B 型（定員 15 名） |
| | 生活介護（定員 20 名） |
| | 共同生活援助（定員 22 名） |

(2) 一般相談支援事業

- 「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」 地域移行支援・地域定着支援

(3) 特定相談支援事業

- 「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」 特定相談支援

(4) 障害児相談支援事業

- 「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」 障害児相談支援

(5) 障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉

- 「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

○公益事業

(1) 障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉

- 「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

IV 令和 7 年度重点項目

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の 4 事業所が相互に連携し協働のもと、激変する経営環境を見極めながら、次の項目に取り組んだ。

(1) みずき園事業転換の取り組み

みずき園の B 型事業の廃止（令和 8 年度末）と単独の生活介護事業所への転換（令和 9 年度）に向けた取り組みを進めた。

B 型事業の廃止に向けては、障害支援区分 1、2 で生活介護事業の対象とならない利用者に対し、法人内の B 型事業所を含め、利用者の希望に沿ったサービス提供

事業所への移行を相談支援事業所と連携して支援した。

これらの取り組みの結果、B型利用者の移行が想定を上回る速さで進んだことから、B型事業の廃止時期を令和8年5月末に繰上げ、令和8年6月から単独の生活介護事業所へ転換する計画へと変更した。

(2) 収支バランスの立て直しと職員配置の見直し

B型事業利用者の減少による収入減と継続する人件費の上昇により、法人財務状況が急激に悪化していることから、利用者数に応じた適正な職員配置の見直しを行い、収支バランスの改善に取り組んだ。

適正な職員配置に向けては、拠点間での職員異動や退職者の補充採用を必要最小限に留めるなど見直しを進めたが、最低賃金の上昇が続いており、職員の確保に必要な給与改善を行った結果、人件費の削減は限定的であった。また、物価高騰の影響もあり赤字幅は前年と同水準であった。

V 法人の運営

1 評議員会の開催状況

開催日	出席者数	内 容
	評議員 (定数7)	
定 時 6 月 20 日	5	(1) 報告事項 令和6年度事業報告について (2) 議案 令和6年度計算書類及び財産目録の承認について 任期满了に伴う理事の選任について 任期满了に伴う監事の選任について

2 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催日	出席者数	内 容
第1回 6 月 16 日	委員5名中4名 (外部委員2名中1名)	(1) 議案 任期满了に伴う評議員の選任について

3 理事会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	理事 (定数6)	監事 (定数2)	
第1回 6 月 3 日	6	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について 令和6年度障害福祉サービス事業者等の運営指導の実施結果について (2) 議案 令和6年度事業報告について 令和6年度決算について 任期满了に伴う理事候補者の推薦について 任期满了に伴う監事候補者の推薦について 令和7年度定時評議員会の開催について 任期满了に伴う評議員候補者の推薦について

			令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について 令和7年度第1次補正予算について
第2回 6月20日	6	2	(1) 報告事項 令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果について (2) 議案 理事長の選定について 専務理事の選定について 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について 任期満了に伴う第三者委員の選任について
第3回 10月1日	6	2	(1) 報告事項 虐待事案の発生と対応について
第4回 12月3日	6	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）事務指導の実施結果について 令和7年度障害福祉サービス事業者等の運営指導の実施結果について 寄付金の受け入れについて 苦情受付について グループホームの建築基準法適合状況の確認結果及び不適合事項の改善に向けた対応について (2) 議案 グループホーム用途変更に伴う建築基準法適合改修工事の実施について 令和7年度第2次補正予算について
第5回 3月17日	6	2	(1) 報告事項 グループホーム用途変更に伴う建築基準法適合改修工事の完了について 障害福祉従事者処遇改善緊急支援事業について (2) 議案 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 令和7年度第3次補正予算について 経理規程の一部変更について みずき園就労継続支援B型事業の廃止について みずき園運営規程の一部変更について 松柏園運営規程の一部変更について あすリード本舗運営規程の一部変更について 一般相談支援事業運営規程の一部変更について 特定・障害児相談支援事業運営規程の一部変更について 久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター事業運営規程の一部変更について 令和8年度事業計画について 令和8年度収支予算について 事務局長の任命について

4 監事監査

監査等	開催日	内 容
決算監査	5月22日	令和6年度業務執行状況及び財産状況監査 監 事：佐々木信蔵、勝田好正 説明者：間健倫理事長、田代順専務理事、 各事業所管理者4名及び事務員6名
出納調査	5月22日	1月～3月までの会計執行状況
	8月29日	4月～6月までの会計執行状況
	11月25日	7月～9月までの会計執行状況
	2月24日	10月～12月までの会計執行状況

5 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「株式会社つばさ社福総研」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

業務委託契約の内容 (1) 会計業務 (2) 決算業務

6 福祉サービスに係る苦情解決事業

(1) 苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。

(2) 苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付の状況は次のとおりです。

施 設 名	内容別苦情受付件数				対応状況（再掲）	
	職員の 対応	サービ ス内容	その他 の内容	計	解 決	継続中 その他
松柏園						
みずき園						
あすリード本舗	1			1	1	
チャレンジドセンター久慈						
計	1			1	1	

※苦情内容が職員の不適切な支援であったことから、再発防止に向けた臨時法人職員研修会を行いました。

7 身体拘束適正化の取り組み

(1) 指針の整備

身体拘束禁止に関する指針を整備し、利用者に対する身体拘束を禁止するとともに、やむを得ず身体拘束や行動制限を行う場合の対応方法を明確にすることで、利用者の人権を尊重した適正な支援の提供に努めた。

(2) 身体拘束廃止委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員で構成する「身体拘束廃止委員会」を設置し、各事業所の取り組みを点検するとともに、身体拘束の廃止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は2回開催し、各事業所で該当事例が無いことを確認するとともに、委員会で協議が必要となる具体的な支援場面等の確認を行った。

8 虐待防止の取り組み

(1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

(2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付の状況は次のとおりです。

施 設 名	虐待通報受付件数					対応状況（再掲）	
	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト他	計	解 決	継続中 その他
松柏園			1 ※		1	1	
みずき園							
あすリード本舗							
センター							
計			1		1	1	

※被虐待者は松柏園利用者、虐待者がみずき園所属職員であり法人として対応いたしました。

（３）虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当者で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は５回開催し、法人内全職員を対象とした虐待防止研修を企画・実施した他、職員セルフチェックを活用した課題検討を行うことにより職員のメンタルヘルスへの対応につなげた。

また、運転業務従事者による虐待事案が発生したことから臨時委員会を開催し、事案の検証と再発防止策の検討を行った。対応策として事業所と運転業務従事者との情報交換を目的とした送迎担当者会議を設置し、翌月から定期的で開催している。

９ 感染症の発生及びまん延の防止等に関する取り組み

（１）指針の整備

感染対策に関する指針を整備し、平常時の対策、発生時の適切な対応など、感染対策体制を確立し、適切で安全なサービス提供に努めた。

（２）感染対策委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員及びサービス管理責任者で構成する「感染対策委員会」を設置し、感染予防及び発生時の対応について具体的な対策を講じるなど、感染症の発生及びまん延の防止等に向けた取り組みを行った。

今年度は４回開催し、具体的な対策として、感染性胃腸炎（ノロウイルス）が疑われる方の汚物処理方法を委員会で確認し、実践に結び付けるため同じ内容で職員研修及び訓練を企画・実施した。

１０ 業務継続に向けた取組

（１）業務継続計画の策定

感染症や非常災害の発生に備え「業務継続計画」を策定し、必要なサービスが継続的に提供でき、かつ、早期の業務再開を図るための体制を構築した。

（２）感染対策委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員及びサービス管理責任者で構成する「感染対策委員会」を設置し、感染症に対応する業務継続計画を職員に周知するとともに、必要な研修及び訓練を企画・実施した。

（３）災害対策委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員及びサービス管理責任者で構成する「災害対策委員会」を設置し、自然災害に対応する業務継続計画を職員に周知するとともに、必要な研修及び訓練を企画・実施した。

今年度は５回開催し、豪雨災害を想定した避難訓練、地震・津波災害を想定した避難訓練、職員安否確認訓練を企画・実施したほか、机上型訓練を通じて業務継続計画の検証と見直しを行った。

１１ 地域における公益的な取組

（１）「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題

を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のサポート対応はありませんでした。

1 2 情報公開

(1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項等について公開した。

○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、役員等名簿、事業の概要、計算書類

○積極的な公表事項

事業報告書、財産目録、付属明細書、監査報告書、社会福祉充実残額算定シート

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

1 3 研修の状況

(1) 法人役職員の外部研修への参加

期 日	研修名	場 所	参加者
7月30日	令和7年度社会福祉法人経営サポートセミナー (岩手県保健福祉部主催)	久慈地区合同庁舎	理 事 間 則明 施設長 渡辺 和光
9月25日	令和7年度事業継続計画(BCP)策定セミナー (岩手県社会福祉法人経営者協議会主催)	ふれあいランド岩手	副施設長 間 則明 副施設長 仲道 里美
12月11日 ～12日	令和7年度岩手県障がい者虐待防止研修 (岩手県主催)	ふれあいランド岩手	施設長 田代 順
1月5日	令和7年度都道府県経営協セミナー(後期) (岩手県社会福祉法人経営者協議会主催)	いわて県民情報交流センター	専務理事 田代 順 理 事 間 則明

(2) 法人職員研修会の開催

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
9月6日 (土)	令和7年度第1回法人職員研修会 ○感染症対策研修 「感染予防」～手指消毒の正しい知識～ 講師：松柏園施設長 渡辺和光 ○身体拘束廃止研修 「ケース記録の書き方について」 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔 ○虐待防止研修 「虐待防止の基本」 ～不適切な対応が虐待につながる～ 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔 ○ハラスメント研修	久慈市総合福祉センター	全事業所職員47名

	「ハラスメントとは」 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔		
11月29日 (土)	令和7年度臨時法人職員研修会 (1) 職員と利用者の関係性 ～利用者の言動に困ったときの対応について～ (2) 支援の基本的な考え方 ～作業支援の現場を例に考えてみる支援のあり方～	久慈グランドホテル	全事業所 職員45名
3月7日 (土)	令和7年度第2回法人職員研修会 ○災害対策研修 「山火事における避難行動」 講師：久慈市防災危機管理課 防災対策官 大粒来輝行 氏 ○感染症対策研修 ① 「実践で学ぶ嘔吐処理」(動画視聴) ② 第2回感染症対応訓練について 講師：松柏園施設長 渡辺和光 ○虐待防止研修 ①疲労蓄積度自己診断チェック 説明者：松柏園サービス管理責任者 仲道幸子 ②不適切な対応を起こさない支援 ～より良い利用者支援を考えてみよう～ 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔	久慈市総合福祉センター	全事業所 職員46名

(3) 各施設の職員研修

施設名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	0	7	7
みずき園	1	11	14
あすリード本舗	0	10	10
チャレンジドセンター久慈	5	7	9
合 計	6	35	40

14 役員等の状況 (令和8年3月31日現在)

【評議員7名(定数7名)】

田中 泰郎 瀧 重吉 村田 幸江 松野下富則
七十刈清明 反町 暢夫 木戸口敏男

※ 任期 就任年月日：令和7年6月20日

満了年月日：令和11年6月に開催される定時評議員会終結の時

【理事6名(定数6名)、監事2名(定数2名)】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理事 中野 信男
理事 大崎 恵作 理事 高屋敷真喜子 理事 間 則明
監事 佐々木信蔵 監事 勝田 好正

※ 任期 就任年月日：令和7年6月20日

満了年月日：令和9年6月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員 5 名（定数 5 名）】

外部委員 宇部 繁 外部委員 菊池 秀一 監 事 佐々木信蔵
監 事 勝田 好正 事務局員 渡辺 和光

※ 任期 就任年月日：令和 7 年 6 月 20 日

満了年月日：令和 11 年 6 月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員 2 名（定数 2 名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（元民生児童委員）

※ 任期 就任年月日：令和 7 年 6 月 20 日

満了年月日：令和 9 年 6 月に開催される定時評議員会終結の時

1 5 職員の状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

施 設 名	職員数	内 訳		
		常用職員	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	1 3	4	6	3
みずき園	2 5	8	7	1 0
あすリード本舗	1 0	5	2	3
チャレンジドセンター久慈	6	5	1	0
合 計	5 4	2 2	1 6	1 6
前年同月比増減	－ 5	－ 4	－ 1	± 0

VI 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・令和 7 年度松柏園事業報告
- ・令和 7 年度みずき園事業報告
- ・令和 7 年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・令和 7 年度あすリード本舗事業報告
- ・令和 7 年度チャレンジドセンター久慈事業報告

VII 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和7年度 松柏園事業報告書

1 総 括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況であるが、利用者数は前年度から減少が続いており大きな課題であったが、今年度は33名でスタートし、年度後半を中心にみずき園から3名、在宅から1名の新規利用者があり、他利用者1名が一般就労に移行したことにより、年度末の利用者数は36名となった。平均利用者数は前半は前年を下回ったが、後半は持ち直し前年度並みで推移した。

就労支援事業では、今年度も物価の高騰や燃料費の高騰により収益にも大きく影響があったが、年度当初にクリーニング料金等の値上げ交渉を行い、利益の確保に努めた結果、平均工賃月額39,991円となり目標工賃額を上回ることができた。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定 員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (令和8年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
目標工賃達成指導員	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	4	3		1		3.7
事務員	1	1				1
運転手	2			2		0.8
合 計	13	11		3		11.5

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

利用者の生きがいのある豊かな生活のため、季節ごとに創意工夫した各種行事を実施した。

- ・夏の行事（宮古シートピアなあと体験）、秋の行事（普代くろさき荘・野田）忘年会（えぼし荘）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 34名（利用率94%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を実施した。また、希望者（16名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス利用者数 34名（利用率94%）

(8) 非常災害対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、消防計画及び業務継続計画を策定し、各種訓練を実施した。

防火対策では、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき避難訓練（通報・避難誘導）及び消防署指導による総合訓練（初期消火・通報・避難誘導）を実施した。

自然災害対策では、業務継続計画に基づき、地震・津波を想定した初動対応及び一時避難訓練を実施したほか、豪雨災害を想定した初動対応及びグループホーム利用者のみずき園への避難訓練をみずき園、あすリード本舗合同で実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当職員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、生活支援に努めた。

4 利用者の状況（令和8年3月31日現在）

（1）月別在籍利用者数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	23	23	23	23	23	24	23	24	25	25	25	25	286	23.8
女性	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	127	10.6
合計	33	33	33	33	33	35	34	35	36	36	36	36	413	34.5

（2）障害別利用者数

（単位：人）

障害 種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
程度	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	A	B	1 級	2 級	3 級	手帳 なし	
利用 者数	0	5	0	1	1	1	0	2 1	2	1	0	1	3 6
小計	1 1						2 1		4				

（3）年齢別利用者数

（単位：人）

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	5	6	5	9	11	36	49.4歳

（4）出身市町村別利用者数

（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	23	6	4	3	0	36

5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数（日）	22	21	21	22	20	22	23	20	22	20	20	22	255
延利用者数（人）	621	592	589	616	574	665	669	592	675	623	621	680	7517
1日平均利用者数（人）	28.3	28.2	28.1	28.0	28.7	30.3	29.1	29.6	30.7	31.2	31.1	30.9	29.5
利用率（％）	85.5	85.4	85.0	84.8	87.0	86.4	85.5	84.6	85.2	86.5	86.0	85.9	85.7

6 就労支援事業の状況

(1) 年間就労支援事業収入

作業科	収 入 (円)	前年度対比 (%)
クリーニング	36,524,088	111.9%
縫製	2,275,617	99.9%
シルクスクリーン印刷	16,847,643	110.0%
合 計	55,647,348	110.8%

(2) 工賃支給状況

	令和7年度目標	令和7年度実績	備考 (前年度実績)
平均工賃月額	35,850円	39,991円	39,848円

(3) 各科の状況

<クリーニング科>

主力となる4施設の入所者私物クリーニングは、7年度4月から値上げを行った事により、売り上げを伸ばす事ができ、前年度比17.0%増となった。

一般クリーニングは、民間事業所のユニホームや白衣の洗濯、イベント・学校関係等のクリーニングで売り上げを確保し、昨年度とほぼ同額となった。

作業面においては、6月～9月まで熱中症予防対策を行い、毎日のWBGT値(暑さ指数)の計測、水分補給、休憩場所の確保など、利用者の体調管理に努めた。

設備面では、燃料費高騰が続いている中、蒸気配管の組み換え、ボイラーや洗濯・乾燥機の使用方法的効率化を図る等、燃料費削減に向けた対策を徹底して行った。

クリーニング収入内訳 (円)		前年 比%
施設利用者私物 (老健等4施設)	26,009,952	117.0
基準寝具業務委託 (特養1施設)	1,999,532	102.5
一般 (団体等)	8,514,604	100.4
計	36,524,088	111.9

<縫製科>

全体での売り上げは前年度と比較し横ばいとなった。B社では作業利用者のスピード減少、作業種目の変更により前年度比32.3%減となったが。A社からの畳み作業の増量、C社からの糸切り作業量を調整し安定した作業量確保に努めたことにより、前年度と同等の売り上げとなった。

作業面においては、高齢の利用者もいることから安全面や体調面に注意しながら無理のない作業となるように配慮し、難しくなった作業については印刷科利用者と協力しながら継続的に確保できるよう取り組んだ。

縫製収入内訳 (円)		前年 比%
子ども服仕上げ受託 縫製事業所A社	1,660,027	107.8
バック付属品受託 縫製事業所B社	228,132	68.7
ジャージ糸切り受託 縫製事業所C社	387,459	97.2
計	2,275,617	99.9

<シルクスクリーン印刷科>

全体での年間売上は、前年度比 10%増となった。物価高騰による影響が大きかったが、Tシャツやタオル類を中心に値上げを行い、利益の確保に努めた。その他のアイテムでは縫製科受託事業者と交渉し生地へのプリント作業を取り入れたことにより前年度比 43.5%増となった。

作業面では技術指導を継続的に行い、刷り作業のスピードアップを図りながら生産数の向上に努めた。また、原材料の値上げが続いていることから作業部材の再利用、割安な部材への切り替えを行うことにより経費削減にも取り組み利益の確保にも努めた。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年 比%
タオル類	6,304,265	104.7
Tシャツ類	5,604,010	109.1
のぼり旗類	2,172,650	97.6
その他のアイテム	2,766,718	143.5
計	16,847,643	110.0

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1	「松柏園だより」発行		
	4	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
	8	親睦会総会	食堂	利用者 30 名、職員 10 名
	10	消防避難訓練	園敷地内	利用者 31 名、職員 11 名
5	13	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
6	23	感染対策訓練	食堂	職員 14 名（センター職員含む）
7	1	「松柏園だより」発行		
	9	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
	12	ふれあい福祉まつり	福祉の村	職員 3 名
	17	豪雨災害想定避難訓練（3事業所合同）	施設内、みずき園、4ホーム	グループホーム利用者、3事業所職員
	21	えーびーマーケット	道の駅いわて北三陸	職員 2 名
8	13	特別工賃支給		
	14～15	お盆休み		
	30	夏の行事	宮古方面	利用者 21 名、職員 8 名
9	5 28	親睦会役員会	会議室	利用者 7 名、職員 2 名
10	1	「松柏園だより」発行		
	9	県北ブロック協議会（スポ GOMI 大会 in 岩手県北	普代・野田	利用者 5 名、職員 2 名 利用者 5 名、職員 2 名
	16	地震想定訓練	園内	利用者 31 名、職員 11 名
	22	消防総合訓練（3事業所合同）	園敷地内	利用者 29 名、職員 11 名
11	13	秋の行事（代替行事）	普代・野田	利用者 28 名、職員 11 名
	21	親睦会役員会 地震・津波想定避難訓練（3事業所合同）	会議室 園内	利用者 7 名、職員 2 名 利用者 32 名、職員 11 名

12	1 5 2 0 2 5 2 9 30～1/5	特別工賃支給 忘年会 クリスマス会 大掃除 年末年始休み	えぼし荘 食堂 食堂	利用者 25 名、職員 12 名 利用者 30 名、職員 10 名
1	5 7 1 5	「松柏園だより」発行 親睦会役員会 BCP 職員安否確認訓練	会議室 4 事業所	利用者 7 名、職員 2 名 全職員
2	1 7 1 1	第 2 回感染症対策訓練 利用者健康診断 えーびーマーケット	総合福祉センター みずき園 道の駅のだ ばあふる	職員 利用者 30 名 職員 2 名
3	1 9	親睦会役員会 慰労食事会	会議室 久慈グランドホテル	利用者 7 名、職員 2 名 利用者 31 名、職員 10 名

＊毎月 1 5 日は工賃支給日、体重・血圧測定、

8 会議の状況

実施日	会 議 名	参加職種	内 容
毎月 1 回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月 1 回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月 1 回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月 1 回	モニタリング会議	全職員	利用者の個別支援計画について
毎月 1 回	個別支援計画伝達会議	全職員	利用者の個別支援計画職員伝達
毎月 1 回	運営会議（4 事業所合同）	施設長、係長	法人内全事業所の運営について
年 4 回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
6/10	日本セルフセンター 熱中症防止研修会	日本セルフ センター	オンライン 研修	生活支援員	1 名	講義 1、熱中症等の暑熱対策に関する 法令等の知識併せて最新の労働 安全衛生規則の改正について 2、命を守る熱中症対策～安全な作業 環境づくりのために
8/25	就労継続支援事業所 の経営改善事業に係 る第 1 回研修	県北広域振 興局保健福 祉環境部	オンライン 研修	施設長	1 名	賃金・工賃ワークシートの作成と 実践
9/12	令和 7 度 役職員研修会	岩手県社会 福祉協議会	盛岡市中央卸 売市場	係長	1 名	行政説明「障がい者福祉施設にお ける感染症対策の見直し」 講義「障がい者福祉施設における 現在の感染症対策」
10/17	令和 7 度 地域生活セミナー	岩手県社会 福祉協議会	岩手県二戸地 区合同庁舎	施設長	1 名	講演「強度行動障がいの特性と 支援方法について」

11／14	令和 7 年度 県北ブロック協議 会研修会	障がい者福 祉協議会県 北ブロック	久慈地区合同 庁舎	生活支援員	1 名	「意見・情報交換会」 ～県北福祉の未来を語ろう～ グループ討議
2／20	就労継続支援事業 所における賃金・工 賃向上に関する成 果報告会	県北広域振 興局保健福 祉部	オンライン	係長	1 名	各事業所からの報告及び解説 就労継続支援 A 型事業所 コノハナサカス お菓子工房 m
2／5	オンラインセミナー 社会福祉法人会計 「決算編」	公益法人協 会	オンライン	事務員	1 名	決算書の作成例によりポイント 解説・会計処理

令和7年度 みずき園事業報告書

1 総 括

みずき園運営規程に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切な指定就労継続支援B型サービス及び指定生活介護サービス及びを提供した。

みずき園は利用者の重度化に対応するため、令和6年10月から生活介護事業を導入し、令和8年度末を目途にB型事業を廃止する計画としており、引き続きB型サービスの利用を希望する利用者が他のB型事業所へスムーズに移行できるよう、相談支援事業所と連携して支援した。

生活介護の利用状況は、4月に新規利用者2名を受け入れ利用者数23名でスタートし、途中で1名退所者があったが、みずき園B型から移行した利用者が2名おり、年度末の利用者数は24名となった。サービス提供では、利用者の幅広いニーズと障害特性に対応するため創作活動メニューを工夫し、個人で取り組める活動とグループで楽しめる活動をプログラム化して提供した。また、生産活動を希望する一部の利用者には、これまで取り組んできたリサイクル作業を継続して提供し、安定した活動となるよう支援した。

就労継続支援B型の利用状況は、利用者数13名でスタートし、期中に他のB型事業所等へ移行した方が8名おり、年度末の利用者数は5名となった。移行先は他法人B型事業所3名、松柏園B型3名、みずき園生活介護2名であった。B型利用者の減少に伴い就労支援作業を計画的に縮小し、しいたけ農家に出向いて行う農福連携の施設外作業を11月に、松柏園給食受託作業を3月にそれぞれ終了した。そうした中でも空き缶・古紙リサイクル作業を継続しながらバザーを年2回開催するなど営業努力を重ね、例年と同水準の工賃を確保した。

今年度後半には、B型事業廃止を前提とした利用者の他事業所等への移行が想定を上回る速さで進んだことから、B型事業廃止予定日を令和8年5月末日へと計画変更するとともに、在籍するB型利用者・ご家族に対し丁寧な説明に努め、スムーズに移行できるよう相談支援事業所と連携して継続的に支援した。

2 事業の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 事業の種類 | 就労継続支援B型、生活介護（多機能型） |
| (2) 指定年月日 | 就労継続支援B型 平成19年4月1日
生活介護 令和6年10月1日 |
| (3) 定 員 | 就労継続支援B型 15名
生活介護 20名
多機能型合計 35名 |
| (4) 主たる対象者 | 知的障害者 |
| (5) 就労支援種目 | リサイクル・給食受託 |

3 職員の配置状況（令和8年3月31日現在）

職 種	就労B型	生活介護	計
施設長	1		1
副施設長	1（1）		1（1）
サービス管理責任者	1		1
看護師		1	1
生活支援員	2（2）	4（1）	5（2）

職業指導員	1		1
生産活動専門職員 (職業指導員 1、調理員 1)	2		2
事務員		2	2
調理員		1	1
運転手		2	2
合 計			17 (3)

() は兼務再掲

4 施設サービスの状況（生活介護、労継続支援B型共通）

（1）自立支援と日常生活の充実のための基本的な活動

利用者がサービスを利用することで、心身機能の維持、向上、創作的活動や生産活動等の諸活動を通して楽しみややりがいを感じることを、さらに友人や支援者等との交流を通して対人関係や活動の幅が広がることを目指して支援を行った。

また、生産活動においては、働くうえで必要な労働習慣の確立や働く意欲を高めることを目指して支援を行った。

これらの支援においては、利用者の主体的な行動を促進し、利用者の自己実現と自立を目指した支援となるよう努めた。

（2）個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

（3）社会生活支援

各種行事や余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに、社会参加や生きがい作り等の支援を行った。

※主な行事 お花見行事、夏の外出行事、秋の外出行事、忘年会、ミズキまつり、慰労食事会

（4）健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を実施した。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温等により利用者一人ひとりの健康状態の確認を行った。

（5）食事の提供

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、年2回アンケート調査を実施し、利用者の特性に合わせた個別の配慮をしながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事を提供した。

・給食サービス利用者数 28名（利用率 96.5%）

・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり 340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の 298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス利用者数 26名（利用率 89.6%）

(7) 非常災害対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、消防計画及び業務継続計画を策定し、各種訓練を実施した。

防火対策では、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき避難訓練（通報・避難誘導）及び消防署指導による総合訓練（初期消火・通報・避難誘導）を実施した。

自然災害対策では、業務継続計画に基づき、地震・津波を想定した初動対応及び一時避難訓練を実施したほか、豪雨災害を想定した初動対応及びグループホーム利用者のみずき園への避難訓練を松柏園、あすリード本舗合同で実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

5 利用者の状況（令和8年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

（単位：人）

月別 サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
就労B型	13	13	13	11	11	9	9	8	7	7	6	5	112	9.3
生活介護	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	23	24	254	21.1
合計	36	36	36	34	34	32	31	30	29	29	29	29	384	32.0

(2) 障害別利用者数

（単位：人）

種別	知的障害		身体障害						精神障害				合計
程度	A	B	1級	2級	3級	4級	5級	6級	1級	2級	3級	軽度	
B型	0	4							1				5
生活	18	6	(1)	(1)			(1)						24
合計	18	10	(1)	(1)			(1)		1				29

※（ ）は重複障害

(3) 障害支援区分別利用者数

（単位：人）

障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
就労B型	0	0	1	1	3		5
生活介護	2	7	11	4	0		24
合計	2	7	12	5	3		29

(4) 年齢別利用者数

(単位：人)

	～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	計	平均年齢
就労B型	0	0	3	0	1	1	5	44.6歳
生活介護	0	4	6	8	3	3	24	44.2歳
合計	0	4	9	8	4	4	29	44.3歳

(5) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	合計
就労B型	1	2	1	1		5
生活介護	17	6	1	0		24
合計	18	8	2	1		29

6 施設利用状況

就労継続支援B型

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数 (日)	22	21	21	22	19	22	23	20	22	20	20	22	254
延利用者 数(人)	260	248	249	230	186	185	195	149	142	129	110	101	2184
1日平均利 用者数(人)	11.8	11.8	11.9	10.5	9.8	8.4	8.5	7.5	6.5	6.5	5.5	4.6	8.6
利用率 (%)	90.9	90.8	91.2	95.0	89.0	93.4	94.2	93.1	92.2	92.1	91.7	91.8	92.1

生活介護

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数 (日)	22	21	21	22	19	22	23	20	22	20	20	22	254
延利用者 数(人)	400	376	375	380	246	363	398	358	407	354	390	433	4480
1日平均利 用者数(人)	18.2	17.9	17.3	12.9	16.5	17.3	17.9	18.5	17.7	19.5	19.7	17.6	17.6
利用率 (%)	79.1	77.8	77.6	75.1	56.3	71.7	75.2	81.4	84.1	80.5	84.8	82.0	77.2

7 各サービスの状況

7-1 【生活介護】

(1) 創作的活動

創作的活動は、自己を表現する喜びや、視覚や手指からの感覚的な刺激を通して、豊かな感性を培うよう図った。また、利用者の特性に応じて、創作的活動を通して潜在的な表現力や感性を引き出し、利用者の活動の幅を広げていけるよう支援した。

提供にあたっては月間のプログラムを作成し、楽しみをもって利用できるよう準備に努めた。

①体や頭を使った元気の出る活動

- ・カラオケ ・脳トレ（パズル、ボードゲーム等）

②創作活動

- ・廃材アート、貼り絵などの作品作り

③グループで楽しむ活動

- ・レクリエーション（ミニボーリング、風船バレー等）
- ・ドライブ ・ミニシアター（DVD鑑賞）

(2) 生産活動

生産活動では、働くことを通して、心身機能の維持・向上や、役割を担うことでのやりがい、働くことの楽しさ等を享受できるよう支援した。

また、生産活動に従事した利用者に対し、生産活動に係る事業収入から必要経費を控除した額に相当する工賃を支給した。

①提供した生産活動

- ・リサイクル等軽作業（古紙・空き缶等の分別）
- ・施設外作業（しいたけ廃菌床片付け、農園作業）

②工賃支給状況

一人当たり平均工賃月額 7, 464円

(3) 利用者の心身の状況に応じた支援

利用者一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介助や健康管理等適切な支援を行った。

また、利用者の心身の健康の維持・増進を目的とした軽運動等の取り組みを行った。

①身体介助

- ・車いす介助 ・排せつの自立について必要な援助

②看護職員による健康管理

- ・日々の健康チェック ・体調に不安がある場合の相談・助言
- ・必要に応じて協力医療機関等との連絡、通院

③軽運動等

- ・音楽に合わせた体操や散歩

7-2 【就労継続支援B型】

(1) 提供した生産活動

利用者ひとり一人のニーズや適性に合わせた作業科を設け、適切な作業支援を行った。

① リサイクル ・施設外就労（菌床しいたけ生産農家での廃菌床片付け作業等）

※作業内容見直しにより令和7年11月で終了

- ・受託作業（福祉の村・ふれあい農園での野菜作り等）
- ・古紙・空き缶等の収集分別

- ・バザーの開催（古着等リサイクル品の販売、模擬店販売）
- ② 受託作業 ・松柏園給食の配膳、片付け
- ※作業内容見直しにより令和8年3月で終了

(2) 年間作業収入

作業科	収入（円）	前年度対比（％）
リサイクル科（※）	1, 4 9 1, 9 1 2	7 6. 3
受託作業科	4, 4 2 5, 7 2 0	9 9. 5
合 計	5, 9 1 7, 6 3 2	6 6. 4

（※）リサイクル科の収入は就労継続支援B型と生活介護の合計値

(3) 工賃支給状況

	令和7年度目標	令和7年度実績	備考（前年度実績）
平均工賃月額	6, 7 0 0円	8, 3 0 6円	6, 6 1 0円

(4) 各作業科の状況

①リサイクル科

リサイクル科は、作業科全体として前年比76.4%の売上げとなった。

農福連携作業では、椎茸農家での菌床片付け作業や菌床返し作業に11月までの8カ月間取り組み前年比63.7%の売上げとなった。利用者の減少に伴い少ない人員での取り組みになったが、椎茸農家に理解を頂きながら、作業量や日程を調整して取り組んだ。

空缶等リサイクルは、作業日数の減少により前年比41.8%の売上げとなった。

古着等リサイクルでは、バザーを今年度も夏と秋の年2回開催し、前年比90.2%の売上げとなった。また、バザーの準備期間中は施設内の活動スペースが手狭になるため、従来のディスプレイの仕方を変えて準備期間を短縮するなど工夫をしながら行った。

利用者支援では、施設外作業に従事する利用者の身体的な負担を軽減するため、作業日程の調整を行ったり、効率的な作業を心掛けるなど利用者の体調面に配慮しながら取り組んだ。

②受託作業科

松柏園給食業務の受託作業は職員、利用者とも交代要員を総動員して取り組み、安定した給食の提供に努めた。利用者は配膳業務と洗い物等片付け業務に従事し、交代できる利用者が限定される中、責任感を持って最後まで取り組むことが出来た。

利用者支援では、作業を集中できる環境づくりを心掛け取り組んだ。

8 主要事項

月	日	内 容	場 所	参加者
4	8	新規利用者歓迎会	食堂	利用者、職員
5	2	お花見行事（道の駅くじ、滝ダム散策）	久慈市内	利用者、職員
	9	自主避難訓練	園内	利用者、職員
	25	家族会総会	食堂	家族会会員、職員
6	19	第1回感染対策訓練	作業室	職員
	28	サマーバザール	園内	職員
7	11	夏の行事（久慈琥珀博物館、道の駅の他）	久慈、野田方面	利用者、職員
	12	ふれあい福祉まつり（販売・スタッフ参加）	福祉の村	職員

	17 21	豪雨災害想定避難訓練(3事業所合同) えーびーマーケット(スタッフ参加)	みずき園 道の駅いわて北三陸	職員 職員
8				
9	26	いわてスポーツネットワーク事業	市民体育館	利用者、職員
10	10 16 22	秋の行事(八戸市水産科学館、種差海岸) 地震想定避難訓練 消防総合訓練(3事業所合同)	八戸方面 園内 園内	利用者、職員 利用者、職員 利用者、職員
11	1 13, 14	オータムバザール インフルエンザ予防接種(希望者のみ)	園内 関上クリニック	職員 利用者
12	5 13 23	久慈地域障がい者アート作品展・見学 忘年会 クリスマス会	アンバーホール えぼし荘 食堂	利用者、職員 利用者、職員 利用者、職員
R8.1	15 16	災害対策机上型訓練安否確認訓練(4事業所) ミズキまつり	園内 作業室	職員 利用者、職員
2	6	利用者健康診断	作業室	利用者
3	19 24	慰労食事会 第2回感染対策訓練	くんのこ 食堂	利用者、職員 職員

9 会議の状況

開催日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事確認等
年5回	利用者支援全体会議	全職員	利用者支援について
毎月1回	工賃支給会議	サービス管理責任者、作業科担当職員	工賃支給額の決定
年2回	工賃評価会議	施設長、サービス管理責任者、作業科担当職員	工賃評価の確認
年8回	個別支援計画モニタリング会議	施設長、サービス管理責任者、作業科担当職員	個別支援計画について
年4回	給食会議	施設長、給食担当職員	給食業務全般、栄養指導等
毎月1回	運営会議(4事業所合同)	施設長、副施設長、係長	各事業所の運営状況

10 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加者名	研修内容
8/23	生活介護事業施設 見学(自主企画研 修)		施設長 サービス管理責任者 事務員 生活支援員	1名 1名 2名 4名	社会福祉法人しい のみ会「しいのみホ ーム」見学

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加者名	研修内容
7/24	社会福祉法人会計セミナー(基本編)	公益法人協会	仙台市	事務員	1名	講義:社会福祉法人の経理実務の基礎と社会福祉法人特有の基本的な会計処理について
8/26	障がい福祉サービス事業所等集団指導	岩手県保健福祉部	久慈地区合庁	生活支援員	1名	行政による運営指導
9/5	安全運転管理者講習	岩手県公安委員会	久慈市福祉センター	施設長	1名	安全運転管理者の法定研修
9/12	役職員研修会	岩手県社会福祉協議会	盛岡市	事務員	1名	施設における感染症対策
9/27	V R 発達障害体験会	岩手県介護福祉士会	盛岡市	生活支援員 職業指導員	2名 1名	発達障害の特性を当事者目線で体験する
10/8, 9	社会福祉従事者新任職員研修会	岩手県社会福祉協議会	盛岡市	生活支援員 職業指導員	1名 1名	福祉従事経験3年以上を対象とした基礎知識や技術の習得
10/23, 24	甲種防火管理新規講習	岩手県防災保安協会	久慈市防災センター	職業指導員	1名	資格取得講習
11/14	県北ブロック協議会研修会	岩手県社会福祉協議会	久慈地区合庁	生活支援員	1名	「話しやすい職場づくり」意見、情報交換会
12/11, 12	障がい者虐待防止研修	岩手県保健福祉部	盛岡市	施設長	1名	虐待防止に関する講義・演習
2/5	社会福祉法人会計セミナー(予算・実践編)	公益法人協会	ZOOM	事務員	1名	講義:収支予算の策定手順、期中における予算対比の進め方、補正予算の作成手順について
2/12	社会福祉法人会計セミナー(決算編)	公益法人協会	ZOOM	事務員	1名	講義:決算書の作成例によるポイント解説・会計処理

令和7年度 共同生活援助事業報告書

1 総 括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

グループホームの利用状況は、4月以降入退所の変動は無かったが、一般就労している利用者1名が心身状態の変化により2月末で退所となった。

利用者複数名の日中活動場所であるみずき園B型事業の廃止時期が近づいていることから、利用者が希望する事業所へスムーズに移行できるよう、生活場面においても利用者の意向を確認しながら関係機関と連携し支援した。

また、物価高騰に伴い食費の値上げを検討し利用者・家族から了承を得て5月から実施した。

2 共同生活住居の所在地及び利用定員

名 称	所 在 地	利用定員	総定員
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	女性5人	22人
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	男性5人	
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	男性6人	
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	男性6人	

3 職員の配置状況（令和7年3月31日現在）（単位：人）

職 種	員数	常勤	非常勤	常勤換算後の員数
施設長（管理者）	1	1		1
サービス管理責任者	2	2		2
生活支援員	2	2		1.2
世 話 人	7	4	3	5.4
合 計	12	9	3	9.6

4 利用者の状況

（1）月別・ホーム別在籍利用者数

（単位：人）

月別 ホーム別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	充足率 (%)
みずきハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	71	99%
合 計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	263	99%

(2) 障害支援区分別利用者数

(単位：人)

月別 障害支援区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
区 分 1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23
区 分 2	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
区 分 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
区 分 4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
合 計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	263

(3) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	計
利用者数	1 2	5	2	1	1	2 1

5 サービス内容

(1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の同意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

(2) 食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した(朝食：7:00～ 夕食：18:00～)。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。コロナウイルス・インフルエンザ感染防止対策の一環で体調不良者が発生した場合は居室にて食事提供を実施した。

(3) 入 浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

(4) 排 泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の加齢に伴う変化や心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

(5) 地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続き、買物の同行、代行支援を行った。

(6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、入院時の各種手続き、面会等を行った。

(7) 余暇支援

利用者一人ひとりの希望を尊重しホーム内での交流や楽しみを取入れ、余暇の充実に繋げた。

<誕生日会、クリスマス会(2ホーム合同)等>

(8) 相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス 利用料	家賃（個室）	食費（1食当り）		水道光熱費、 灯油代、日用品費等
			令和7年4月 まで	令和7年5月 から	
みずきハウス	市町村長が 定めた額	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	朝食 350円 夕食 500円	実費（月額）
なごみハウス	市町村長が 定めた額	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	朝食 350円 夕食 500円	実費（月額）
のどかハウス	市町村長が 定めた額	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	朝食 350円 夕食 500円	実費（月額）
きららハウス	市長村長が 定めた額	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	朝食 350円 夕食 500円	実費（月額）

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策訓練の実施状況

時期	訓練種別	内容	対象ホーム
7月	水害	避難訓練（みずき園、松柏園、あすリード本舗合同） ・みずき園への避難（車両）	全4ホーム
7月	土砂災害	避難訓練 ・近隣ホームへの避難（徒歩）	のどかハウス
11月	地震・津波災害	津波警報発令時の緊急避難訓練 ・久慈市指定避難場所への避難（徒歩） ・近隣ホームへの避難（徒歩） ・ホーム内2階への垂直避難	なごみハウス きららハウス みずきハウス
12月	火災	疑似通報・避難訓練、消火訓練	全4ホーム
3月	火災	支援者不在時の利用者による電話連絡訓練、支援者による疑似通報訓練、避難訓練	全4ホーム

8 定例会議の状況

実施日	会 議 名	参加職種	内 容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	施設長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議（ホーム毎）	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

9 職員研修の状況

令和7年度は実施なし（法人職員研修会への参加あり）

令和7年度 あすリード本舗事業報告書

1 総 括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援B型サービスを提供した。

施設の利用状況は、前年度末の1名退所により利用者数19名でスタートし、5月に1名利用開始したが一般就労により6月で退所となった。9月に1名入所後は入退所の動きはなく、利用者数20名で推移した。年間を通じて長期欠席者や感染症の影響も少なく、安定した利用状況となり、年間利用率96.4%と高い水準を維持した。

就労支援事業においては、前年に引き続き製麺事業が好調であった。新規の取引先があったことから、主力商品である生中華麺の売り上げが増加した他、スープのリニューアルに合わせた売価の見直しと営業活動により前年度並みの売り上げを確保した。また、就労支援事業全体でも収益が確保されたことから年度末特別工賃を支給し、平均工賃が3万6千円台となり目標額を大幅に上回った。

利用者支援においては、施設外での行楽行事や忘年会等を計画的に実施し、楽しみをもって利用できるような支援に努めた。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定 員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
麺製造作業、菓子製造作業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（令和8年3月31日現在）

（単位：人）

職 種	員数	常 勤		非 常 勤		常勤換算 後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1		1			1
副施設長兼サービス管理責任者	1	1				1
事務員	2	2				2
生活支援員	2	2				2
職業指導員	2	1		1		1.875
目標工賃達成指導員	1	1				1
運転手兼職員補助	1			1		0.79
運転手	1			1		0.65
合 計	11	9	1	2		10.315

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労希望者に対し、企業説明会の情報提供や参加への調整を行い、利用者個々の就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいがづくり等の支援を行った。

(5) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と体調確認を行うとともに、手指消毒の徹底を行った。

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス利用者数 19 名（利用率 95%）

(7) 非常災害対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、消防計画及び業務継続計画を策定し、各種訓練を実施した。

防火対策では、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき避難訓練（通報・避難誘導）及び消防署指導による総合訓練（初期消火・通報・避難誘導）を実施した。

自然災害対策では、業務継続計画に基づき、地震・津波を想定した初動対応及び一時避難訓練を実施したほか、豪雨災害を想定した初動対応及びグループホーム利用者のみずき園への避難訓練をみずき園、松柏園合同で実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当職員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、生活支援に努めた。

(9) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

4 利用者の状況 (令和8年3月31日現在)

(1) 月別在籍利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	13	14	14	13	13	14	14	14	14	14	14	14	165	13.75
女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.00
合計	19	20	20	19	19	20	20	20	20	20	20	20	237	19.75

(2) 障害別利用者数

(単位:人)

障害 種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
程度	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	A 判定	B 判定	1 級	2 級	3 級	手帳 なし	
利用 者数	0	1	0	0	0	1	0	1 6	1	1	0	0	2 0
小計	2						1 6		2				

(3) 年齢別利用者数

(単位:人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	3	6	7	4	0	20	40.3歳

(4) 出身市町村別利用者数

(単位:人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	田野畑村	計
利用者数	11	5	3	0	1	20

5 施設利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数 (日)	22	21	22	22	19	22	23	20	23	20	20	22	256
延利用者 数 (人)	397	390	407	410	341	427	457	384	449	390	393	429	4,872
1 日平均利 用者数 (人)	18.0	18.6	18.5	18.6	17.9	19.4	19.9	19.2	19.5	19.5	19.7	19.5	19.0
利用率 (%)	94.5	92.9	92.5	98.0	94.5	97.0	99.3	96.0	97.0	97.5	98.2	97.5	96.4

6 就労支援事業の状況

(1) 年間事業収入

項 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
製麺事業	33,814,194	99.9
食品製造事業	2,388,487	114.7
受託事業	4,566,573	86.2
合 計	40,769,254	98.9

(2) 工賃支給状況

	令和7年度目標	令和7年度実績	備考 (前年度実績)
平均工賃月額	29,000円	36,136円	31,201円

(3) 各事業の状況

<製麺事業>

主力商品の生中華麺は、スーパー等量販店へ5食入りを中心とした少量商品の販売、食堂等へ業務用生麺の卸販売を継続的に営業し、6月に移転オープンした道の駅のだ「ばあふる」の食堂へも納品が始まったことから、前年以上の売り上げとなった。

その他の商品では、道の駅北三陸の商品の動きが一段落したことから、2食入り袋麺やパック商品の売り上げが伸び悩んだ。

また、スープのリニューアルに合わせてスープ付き商品の売価を見直すとともに、スープ単品を含め営業に努めた結果、部門全体の売り上げは前年並みを確保した。

利用者支援の状況は、可能な限り利用者を固定することで作業への熟練度を上げ、安定

収入内訳 (円)		前年 比%
袋・パック・箱	8,126,304	87.2
生中華麺	16,411,427	104.2
じゃあじゃあ麺	2,960,047	100.2
スープ類	2,962,766	123.6
ギフト・その他	3,353,650	97.0
計	33,814,194	99.9

的な作業となるよう努めた。また、他作業科から移動し加入した利用者に対しては、本人の特性を見極めながら、基本的な作業工程が身につくよう支援した。

<食品製造事業>

6月に移転オープンした道の駅のだ「ぱあぷる」売店からの注文により、かりんとうの売上げが夏場を中心に増加した。製造工程では、かりんとうが増加した分たい焼きの製造を減らすなど調整を行いながら対応した。

利用者支援の状況は、菓子類の製造の他、必要に応じてのだ塩作業に取り組むなど、作業科間で連携した支援に努めた。

収入内訳（円）		前年 比%
かりんとう	2,097,732	120.6
その他（たい焼き等）	290,755	84.8
計	2,388,487	114.8

<受託事業>

のだ塩調整作業（異物除去等）は、(株)のだむらの生産が上半期は不安定であったが、下半期は増産に転じており、他作業科からも応援するなどして対応に努力した結果、昨年並みの売上げを確保した。利用者支援では、疾病等で体調に配慮が必要な利用者に対応し、無理な作業とならぬよう確認しながら支援した。

木炭の袋詰め作業は、供給元の生産体制が不安定な状況であったが、連絡調整と交渉に努めた結果、前年並みの作業量を確保した。ただし、供給元の事業の継続性が不透明なままであり、作業の難易度も高いことから、計画的に作業受託を終了することとし、令和8年1月で終了した。

終了後の利用者支援は、本人の希望を基本としながら、各利用者の特性に配慮した作業科へ再配属し、新たな作業の定着に努めた。

その他の作業では、おおのミルク工房からアイスカップ等のシール貼作業、(株)のだむらから山ぶどうの房取り作業を受託した。

収入内訳（円）		前年 比%
のだ塩調整作業	2,214,476	93.2
炭袋詰作業	1,960,400	77.3
その他（シール貼等）	391,697	103.2
計	4,566,573	86.3

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参加者等
4	23	消防避難訓練	施設敷地内	利用者・職員
6	7	春の施設外行事（道の駅オイスター・道の駅みやこ）	山田町・宮古市	利用者・職員
6	23	第1回感染症対策訓練	施設内	職員
7	17	豪雨災害想定避難訓練（4事業所合同）	施設内、みずき園、4ホーム	利用者・職員
7	23	利用者親睦会総会	施設内	利用者
10	11	秋の施設外行事（久慈・野田方面）	久慈市・野田村	利用者・職員

10	16	地震・津波想定避難訓練（3事業所合同）	施設敷地内	利用者・職員
10	22	消防総合訓練（3事業所合同）	施設敷地内	利用者・職員
12	6	忘年会（えぼし荘）	野田村	利用者・職員
12	25	クリスマス会	施設内	利用者・職員
1	15	BCP 職員安否確認訓練	4事業所	全職員
2	1	利用者健康診断	みずき園	利用者
2	7	第2回感染症対策訓練	施設内	職員
3	16	慰労食事会	市内	利用者・職員
毎月1回		手話講習会	施設内	利用者・職員

* 毎月20日は工賃支給日、体重・血圧測定

* ラーメン昼食の日、年4回提供

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、就労支援業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者支援について
毎月1回	個別支援計画モニタリング・伝達会議	全職員	利用者の個別支援計画について
年1回	工賃評価会議	施設長、サビ管、作業科担当職員	利用者の工賃評価について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、副施設長、係長	法人内全事業所の運営について

9 職員研修の状況

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
6/11 ～14	社会福祉主事資格通信課程	中央福祉学院	ロフオス湘南	生活支援員	1名	スクーリングによる講義受講
6/18 ～21	社会福祉主事資格通信課程	中央福祉学院	ロフオス湘南	職業指導員	1名	スクーリングによる講義受講
7/23	社会福祉法人会計セミナー「基本編」	公益法人協会	仙台市	事務員	1名	講義：社会福祉法人の経理実務の基礎と社会福祉法人特有の基本的な会計処理について

8/26	令和7年度 介護・福祉事業者等集団指導	県北広域 振興局	久慈地区 合同庁舎	副施設長兼 サービス管 理責任者	1名	運営指導実施結果につ いて、BCP作成後の具体 的な運用について
9/25	令和7年度 事業継続計画 (BCP)策定セミ ナー	岩手県経 営者協 議会	ふれあい ランド岩 手	副施設長兼 サービス管 理責任者	1名	事業継続計画(BCP)を見 直す際のポイントを学 ぶ
10/3	社会福祉法人 会計セミナー 「予算・実践 編」	公益法人 協会	仙台市	事務員	1名	講義：収支予算の策定手 順、期中における予算対 比の進め方、補正予算の 作成手順について
11/1	令和7年度障 がい者支援研 修会	久慈地域 障害者自 立支援協 議会	久慈市総 合福祉セ ンター	副施設長兼 サービス管 理責任者	1名	基調講演「障がい福祉の 現状と課題」、シンポジ ウム「重度高齢化する利 用者への取り組み」
11/11 ～12	社会福祉従事 者リーダー職 員研修会	岩手県社 会福祉協 議会	いわて県 民情報交 流センタ ー	係長・目標工 賃達成指導 員	1名	講義：リーダーシップと メンバーシップ等 講義・演習：多職種連携 とチームアプローチ等
11/14	県北ブロック 協議会「意見・ 情報交換会」	障がい者 福祉協 議会 県北ブ ロック	久慈地区 合同庁舎	職業指導員	1名	「意見・情報交換会」 グループ検議 ～県北福祉の未来を語 ろう～
2/5	社会福祉法人 会計セミナー 「決算編」	公益法人 協会	オンライ ン	事務員	1名	講義：決算書の作成例に よるポイント解説・会計 処理

令和 7 年 度

チ ャ レ ン ジ ド セ ン タ ー 久 慈 事 業 報 告

①雇用安定等事業

1. 総 括

登録者の傾向としては発達障がいを含む精神障がい者の割合が全体の半数近くを占めてきていることへの変化はないが、職業準備性が整っている登録者が少なく実習に結び付けることに苦慮した。また、支援学校以外の高等学校からの相談も微増しており、連携するタイミングが卒業間際にならないように積極的な情報収集と連携体制の見直しが必要である。

2. 事業概要

事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）

職員体制 : 主任就業支援ワーカー 1 名、就業支援ワーカー 2 名

支援対象 : 久慈圏域（1 市 1 町 2 村）

地 域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前 8 時 1 5 分から午後 5 時 1 5 分。

ただし、祝日、年末年始（1 2 月 3 0 日から翌年 1 月 3 日まで） その他、あらかじめ指定した日を除く。

3. 事業の実施内容

（1）企業開拓

○電話での実習依頼や企業訪問をし、実習先の開拓及び職場実習のあっせんを行った。

○就労希望者及び企業ニーズを的確に把握し、適切なジョブマッチングを行った。

○企業を対象に障がい者雇用に関する啓発活動を行った。

（2）相談（職業生活に関すること・職場定着支援）

○就労を希望している障がいのある方等を対象に相談を行った。

○ケアマネジメントの手法に基づき、就労や職場実習を行った。

（3）障害者雇用企業・事業所支援

○就職を希望する方の能力、特性に関する情報提供を行った。

○職業生活に課題が生じた場合の相談・支援を行った。

○スキルアップを目的とした研修会を開催した。

◆事業所対象研修会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第 1 回

日 時 : 令和 7 年 5 月 2 3 日（金） 1 3 : 3 0 ～ 1 6 : 3 0

場 所 : 久慈グランドホテル 2 階 ロイヤルホール

参 加 者 : 企業 : 3 1 名 構成員 : 1 5 名 講師 : 1 名

シンポジスト : 3 名

計 5 0 名

研修内容 : 講演「精神障害者を雇用する為のヒント」

講師 : 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

岩手支部 岩手障害者職業センター

障害者職業カウンセラー 金谷 侑依 氏

シンポジウム「精神障害者を雇用しての課題や工夫したことについて」

アドバイザー : 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

岩手支部 岩手障害者職業センター

障害者職業カウンセラー 金谷 侑依 氏

シンポジスト : 就労継続支援 B 型事業所松柏園

施設長 渡辺 和光 氏 株式会社つしま 清掃業務課長 大渡 幸治 氏 株式会社細谷地 経理課係長 中戸鎖 貴尋 氏 ファシリテーター：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔 氏
第2回 日 時：令和7年10月17日（木）14：00～16：30 場 所：久慈グランドホテル 2階 ロイヤルホール 参 加 者：企業18社27名 スタッフ16名（ファシリテーター1名、シンポジスト1名含む） 講師1名 シンポジスト3名 計47名 研修内容：講演「障害者を雇用する上での環境づくり」 講師：株式会社 ジュークス 開発事業部 技師 高田 北斗 氏 シンポジウム「三陸沿岸の雇用環境を比べてみよう」 シンポジスト：釜石大槌地域障がい者就業・生活支援センター キックオフ 所 長 豊間根 光司 氏 気仙障がい者就業・生活支援センター 主任就業支援ワーカー 黄川田 佳苗 氏 宮古地区チャレンジド就業・生活支援センター 主任就業支援ワーカー 小林 和信 氏 久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター 就業支援ワーカー 中村 拓志 氏 ファシリテーター：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔 氏

（4）関係機関との連携

○関係機関との連携強化を図り、一体的かつ総合的な支援体制（チーム支援）の構築を図った。

◆ネットワーク会議（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

<全体会>

第1回 令和 7年 4月24日（木） 出席者数：40名

報告

- （1）久慈地域障害者自立支援協議会について
- （2）久慈地区障がい者就労支援ネットワーク（就労支援分科会）について

議事

- （1）令和6年度事業報告（案）について
- （2）令和7年度事業計画（案）について
- （3）第1回事業所対象研修会（案）について
- （4）就労継続支援事業所合同説明会（案）について
- （5）就労継続支援事業所合同販売会（案）について

事例検討会

事例提供者・・・就労継続支援B型事業所 みずき園 鈴木 いずみ氏

第2回 令和 8年 3月19日(木) 出席者数: 26名

報告

(1) 会員企業について

議事

(1) えーびーマーケット～冬の陣～実施結果について

(2) 令和8年度事業計画(案)について

<企業支援部会>

第1回 令和 7年 6月 5日(木) 出席者数: 21名

報告

(1) 久慈地区障がい者就労支援ネットワーク(企業支援部会)について

議事

(1) 令和7年度会員企業追加(案)について

(2) 第1回在職者交流会実施結果について

(3) 第2回在職者交流会実施結果について

(4) 第2回事業所対象研修会(案)について

(5) 第2回在職者交流会(案)について

(6) 久慈地域障がい者職場説明会(案)について

第2回 令和 7年 8月28日(木) 出席者数: 19名

報告

(1) 久慈地域障がい者職場説明会について

(2) 第2回事業所対象研修会について

議事

(1) 第1回事業所対象研修会実施結果について

(2) 第1回在職者交流会実施結果について

(3) 第3回在職者交流会(案)について

(4) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽について

(5) 第4回在職者交流会(案)について

(6) 第5回在職者交流会(案)について

第3回 令和 7年10月 2日(木) 出席者数: 23名

報告

(1) 構成団体の変更について

(2) 第2回事業所対象研修会について

議事

(1) 第2回在職者交流会実施結果について

(2) 久慈地域障がい者職場説明会実施結果について

(3) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽について

(4) 第4回在職者交流会について

(5) 第5回在職者交流会について

第4回 令和 8年 2月19日(木) 出席者数: 21名

議事

(1) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽実施結果について

(2) 第2回事業所対象研修会実施結果について

(3) 第4回在職者交流会実施結果について

(4) 第5回在職者交流会実施結果について

(5) 職場説明会の開催

○障がい者と事業所のマッチングと相互理解を目的とした説明会を開催した。

◆職場説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

【職場説明会】

第1回 久慈地域障がい者職場説明会

日 時：令和7年9月5日（金） 13：15～16：05

場 所：久慈グランドホテル 2階 ロイヤルホール

参加者：企業7社：11名 障がい者等：9名 スタッフ等：14名
その他：3名 計37名

第2回 久慈地域障がい者職場説明会in久慈拓陽支援学校

日 時：令和7年11月21日（金） 13：10～14：50

場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館

参加者：企業：9社：13名 久慈拓陽支援学校生徒：22名
教員、保護者等：27名 スタッフ：12名 計64名

(6) 交流会・勉強会の開催

○障がいのある方等に対して、情報交換・勉強会等のサポートを行った。

◆在職者交流会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 令和6年6月20日（金）

「私の仕事報告会」～私はこの職場で成長できました～

参加者数：在職者… 4名 求職者… 1名 企業… 1名
スタッフ… 8名 計14名

第2回 令和7年7月18日（金）

「苦手克服！ビジネス敬語の基本セミナー」

参加者数：在職者… 4名 スタッフ… 7名 講師… 1名
計12名

第3回 令和7年9月19日（金）

「スポーツフェスタに参加しよう！」

中止

第4回 令和7年12月6日（土）

『1年の疲れをリセット！』～アロマで癒しを～

参加者数：在職者… 5名 スタッフ… 7名 講師… 1名
計13名

第5回 令和8年2月6日（金）

ネガティブ感情の気晴らしと困難な状況から回復する力を育む10の方法！

参加者数：在職者… 4名 スタッフ… 8名 講師… 1名
計13名

(7) 本人会開催のサポート

○障がいのある方等の会合で、情報提供等必要に応じてサポートを行った。

(8) 生活困窮者のうち障がい者が窺われる者への就労促進と職場定着

○障がい者が窺われる者との面談や支援プラン策定の場への同席をした。

○受け入れ企業への助言や訓練への同行を行った。

4. 事業継続に係る実績

(1) 就 業… 14名

(2) 実 習… 20名

5. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加者名	研修内容
4月1日	復命研修 「意思決定支援 に着目した個別 支援」	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	1名 1名	資料を基に意思 決定支援につい ての講義
7月6日	今さら聞けない 福祉用語	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	1名 2名	資料を基に福祉 用語の解説
7月29日	P D C Aサイク ル講座	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	1名 1名	資料を基にP D C Aサイクルに ついての解説
10月31日	S T P Dサイク ル講座	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	1名 1名	資料を基にS T P Dサイクルに ついての解説
1月6日	復命研修 若者(児童・生徒) のメンタルヘル スについて学ば う	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	1名 2名	資料を基に児童 期のメンタルヘル スについての 講義

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加者名	研修内容
4月25日	岩手県障害 者・生活支援 センター連 絡協議会研 修会	岩手県障害 者・生活支 援センター 連絡協議会	盛岡市	就業支援 ワーカー	2名	講義 基本的な対話ス キルについて 等
9月26日	岩手県障害 者・生活支援 センター連 絡協議会研 修会	岩手県障害 者・生活支 援センター 連絡協議会	釜石市	就業支援 ワーカー	2名	講演 インクルいわて の取組について

9月26日	岩手県障害者・生活支援センター個人情報漏洩防止研修会	岩手県労働局	釜石市	主任就業支援ワーカー	1名	行政指導及び情報漏洩事案を基にした注意喚起等
11月11日	令和7年度障害者・生活支援センター事業 北海道・東北ブロック経験交流会議	厚生労働省	北海道 札幌市	主任就業支援ワーカー	1名	厚生労働省説明 基調講演 等

②生活支援等事業

1. 総括

基本的な職業生活上における支援を中心に行った。前年度と同様で一般就労されている方は日常生活も概ね自立されており、生活支援の頻度は少なかったが、定着支援の際に生活面に関しての確認作業を丁寧に行った結果、支援件数が増える結果となった。

2. 事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）

職員体制 : 生活支援ワーカー 1 名

支援対象 : 久慈圏域（1 市 1 町 2 村）

地 域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前 8 時 15 分から午後 5 時 15 分。

ただし、祝日、年末年始（12 月 30 日から翌年 1 月 3 日まで） その他、あらかじめ指定した日を除く。

3. 事業の実施内容

（1）地域生活支援

- 福祉施設やサービス事業所の紹介や見学同行などを行った。
- 福祉制度を有効に利用できるよう、情報の提供や手続き等の支援同行を行った。
- 職場への通勤支援や病院への通院同行を行った。
- 余暇活動の支援や情報提供を行った。
- 上記を踏まえ、相談支援事業所と連携しながら支援を行った。

（2）職業生活を高める支援

- 職場で抱える悩みの相談にのり、仲間づくりや本人らが話し合える場の提供に努めた。
- 日常生活を送るうえで本人に必要な勉強会を開催した。

◆在職者交流会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第 1 回 令和 6 年 6 月 20 日（金）

「私の仕事報告会」～私はこの職場で成長できました～

参加者数：在職者… 4 名 求職者… 1 名 企業… 1 名

スタッフ… 8 名

計 14 名

第 2 回 令和 7 年 7 月 18 日（金）

「苦手克服！ビジネス敬語の基本セミナー」

参加者数：在職者… 4 名 スタッフ… 7 名 講師… 1 名

計 12 名

第 3 回 令和 7 年 9 月 19 日（金）

「スポーツフェスタに参加しよう！」

中止

第 4 回 令和 7 年 12 月 6 日（土）

『1 年の疲れをリセット！』～アロマで癒しを～

参加者数：在職者… 5 名 スタッフ… 7 名 講師… 1 名

計 13 名

第5回 令和8年2月6日（金）

ネガティブ感情の気晴らしと困難な状況から回復する力を育む10の方法！

参加者数：在職者…4名 スタッフ…8名 講師…1名

計13名

（3）職場定着支援

○企業での人間関係の調整を行う。

○家庭訪問や定期的な面談を行い、家族を含めた就労後のフォローアップを行った。

○事業主に対する障害特性の相談や職場定着における支援を行った。

○健康管理や金銭管理等、社会生活に必要な助言を行った。

（4）関係機関との連携

○学校、福祉、医療機関等、各関係機関との連携を図り、地域の中で本人の生活を支える仕組み作りに努めた。また、本事業の理解を促進するため、ネットワーク構築を図った。

4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

（1）施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加者名	研修内容
4月1日	復命研修 「意思決定支援 に着目した個別 支援」	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基に意思決定支援についての講義
7月6日	今さら聞けない 福祉用語	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基に福祉用語の解説
7月29日	P D C Aサイク ル講座	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基にP D C Aサイクルについての解説
10月31日	S T P Dサイク ル講座	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基にS T P Dサイクルについての解説
1月6日	復命研修 若者（児童・生徒） のメンタルヘル スについて学ば う	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基に児童期のメンタルヘルスについての講義

（2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加者名	研修内容
4月25日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市	生活支援ワーカー	1名	講義 基本的な対話スキルについて 等

③相談支援事業

1. 総括

今年度も一般相談よりも計画相談での支援が多かった。市町村窓口やハローワークへ就労継続事業所の利用の相談が入った際に真っ先に繋いでいただけるケースが多くなってきており相談員1名での対応が困難な状況が続いている。

2. 事業概要

事業種別 : 特定・児童相談支援事業、一般相談支援事業

職員体制 : 相談支援専門員1名、事務員1名

支援対象 : 久慈圏域（1市1町2村）

地 域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村
（その他の地域に関しては、必要性に応じて検討する）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで） その他、あらかじめ指定した日を除く。

3. 事業の実施内容

（1）相談、福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、手続き、計画作成等）

○日常生活全般に関する相談に応じるとともに、サービスの提供方法を理解しやすいよう説明を行った。また、サービス等利用計画の作成についても必要に応じて実施した。

（2）社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導等）

○各種支援施策に関する助言を行い、生活していくうえで社会資源を有効に活用するとともに、既存の社会資源をつなぎ合わせることに努めた。

（3）社会生活力を高めるための支援

○社会生活上における助言や支援を行い、社会生活力の確保・向上に努めた。

（4）権利擁護のために必要な支援

○契約等の判断をすることが不安な方、日常生活に不安を抱えている方などに対して、自立した地域生活が安定して送れるように福祉サービスや成年後見人制度等の利用援助を促した。

（5）関係機関との連携、ネットワーク構築

○行政、福祉、医療、教育等の関係機関と連携を図るとともに、必要な専門機関の紹介を行った。また、関係機関とのネットワークを構築し、地域生活を支えるシステム作りに努めた。

◆就労継続支援事業所合同説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

【就労継続支援事業所合同説明会】

日 時：令和7年7月17日（月）13：15～15：00

場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館

参 加 者：説明事業所8事業所：11名 久慈拓陽支援学校生徒：26名

教員：17名 保護者：5名 スタッフ：9名

学校教育サポーター：7名 その他：2名

計70名

(6) 就労支援分科会の運営

○行政機関、サービス提供事業者等の関係者が福祉、就労、保健医療、教育等のサービスを総合的に調整し、障がいの有無に関わらず、安心して暮らせる地域づくりに努めた。

◆就労分科会

<全体会>

第1回 令和 7年 4月24日(木) 出席者数: 40名

報告

- (1) 久慈地域障害者自立支援協議会について
- (2) 久慈地区障がい者就労支援ネットワーク(就労支援分科会)について

議事

- (1) 令和6年度事業報告(案)について
- (2) 令和7年度事業計画(案)について
- (3) 第1回事業所対象研修会(案)について
- (4) 就労継続支援事業所合同説明会(案)について
- (5) 就労継続支援事業所合同販売会(案)について

事例検討会

事例提供者・・・就労継続支援B型事業所 みずき園 鈴木 いずみ氏

第2回 令和 8年 3月19日(木) 出席者数: 26名

報告

- (1) 会員企業について

議事

- (1) えーびーマーケット～冬の陣～実施結果について
- (2) 令和8年度事業計画(案)について

<就労継続支援部会>

第1回 令和 7年 6月26日(木) 出席者数: 22名

報告

- (1) 久慈地域における就労選択支援事業について

議事

- (1) 就労継続支援事業所合同説明会について
- (2) えーびーマーケット～夏の陣～について
- (3) 障がい者支援研修会(案)について

事例検討会

事例提供者・・・就労継続支援B型事業所 パワーズ 奥寺 力氏

第2回 令和7年 9月25日(水) 出席者数: 17名

報告

- (1) 障がい者支援研修会について

議事

- (1) 就労継続支援事業所合同説明会実施結果について
- (2) えーびーマーケット～夏の陣～実施結果について
- (3) えーびーマーケット～冬の陣～について

事例検討会

事例提供者・・・就労継続支援B型事業所 ウィズ友

生活支援員 坂上 大起 氏

第3回 令和 7年11月27日 出席者数：16名

報告

(1) 企業支援部会報告について

議事

(1) 障がい者支援研修会実施結果について

(2) えーびーマーケット～冬の陣～（案）について

事例検討会 事例提供者・・・就労継続支援B型事業所 さくらハウス

職業指導員 植野 修子 氏

第4回 令和 8年 1月28日（水） 出席者数：15名

報告

(1) えーびーマーケット～冬の陣～について

事例検討会 事例提供者・・・就労継続支援B型事業所

あすリード本舗

サービス管理責任者 仲道 里美 氏

【就労継続支援事業所合同説明会】

日 時：令和7年7月17日（月）13：15～15：00

場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館

参 加 者：説明事業所8事業所：11名 久慈拓陽支援学校生徒：26名

教員：17名 保護者：5名 スタッフ：9名

学校教育サポーター：7名 その他：2名 計70名

【就労継続支援事業所合同販売会】

第1回

日時：令和7年7月21日（月祝）10：30～14：30

場所：道の駅いわて北三陸

参加者：出店事業所7事業所 スタッフ9名

来場者：延べ550名

第2回

日時：令和8年2月11日（水祝）10：30～14：30

場所：道の駅のだ ぱあふる

参加者：出店事業所：6事業所 スタッフ：11名

来場者：延べ404名

4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加者名	研修内容
4月1日	復命研修 「意思決定支援 に着目した個別 支援」	研修参加職員	相談支援専門 員 事務員	1名 1名	資料を基に意思 決定支援につい ての講義
7月6日	今さら聞けない 福祉用語	研修参加職員	事務員	1名	資料を基に福祉 用語の解説
7月29日	P D C Aサイク ル講座	研修参加職員	相談支援専門 員 事務員	1名 1名	資料を基にP D C Aサイクルに ついての解説
10月31日	S T P Dサイク ル講座	研修参加職員	相談支援専門 員 事務員	1名 1名	資料を基にS T P Dサイクルに ついての解説
1月6日	復命研修 若者(児童・生徒) のメンタルヘル スについて学ば う	研修参加職員	事務員	1名	資料を基に児童 期のメンタルヘル スについての 講義

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加者名	研修内容
8月21日	令和7年度 第4回久慈 地域メンタ ルヘルス・サ ポートネッ トワーク連 絡会	岩手県久慈 保健所	Z O O M開催	相 談 支 援 専 門 員	1名	講話 若者(児童・生 徒)のメンタル ヘルスについて 学ぼう
12月18日	令和7年度 第8回久慈 地域メンタ ルヘルス・サ ポートネッ トワーク連 絡会	岩手県久慈 保健所	Z O O M開催	相 談 支 援 専 門 員	1名	講話 「自殺未遂者に ついて学ぼう」